

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
理工学部	食環境学科	夜・通信	14		15	29	13	
	生物科学科	夜・通信	14		3	17		
	機械工学科	夜・通信	14		18	32		
	情報電子工学科	夜・通信	14		15	29		
経営学部	経営学科	夜・通信	14		18	32	13	
人間学部	人間文化学科	夜・通信	16		12	28	13	
	人間教育学科	夜・通信	14		20	34		
(備考) 2021年度には、届出により経営学部情報マネジメント学科を設置する予定となっている。なお、設置予定の新学科は省令で定める基準単位数を充足する見込みとなっている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ【情報公開-IR情報-実務経験のある教員による授業】 ( <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/#002">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/#002</a> )
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ ( <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/#001">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/#001</a> )
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	元 団体職員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	文書統括担当、キャリアデザインセンター担当、就職担当、募金副担当
非常勤	現 弁護士 現 学校法人(他法人) 役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に法務関係
非常勤	元 株式会社役員 元 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に組織運営関係、募金関係
非常勤	現 株式会社役員 現 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に組織運営関係、募金関係
非常勤	元 公務員 元 株式会社役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に総務関係、社会連携関係
非常勤	元 公務員 元 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に卒業生関係
非常勤	現 団体役員	H30.11.3～ R3.11.2 (3年)	主に国際関係、社会連携関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 授業計画書(シラバスの作成過程)</p> <p>全学教務委員会及びFD委員会で講義要項(シラバス)作成要領を決定し、教授会及び大学院研究科委員会で確認し、全教員がシラバスの作成を行っている。作成要領には、授業の概要、授業の方法、授業の内容、授業の計画、到達目標、成績評価等の記載例や留意事項等を示している。各教員が作成したシラバスは、学部教務委員会で記載内容の点検(第三者による点検)を行った後、Webシステムにて学外にも公表している。</p> <p>教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき各学部・学科の授業科目を編成し、当該年度に開講する授業科目については、全学及び学部教務委員会において計画策定を行っている。</p> <p>年間の授業計画は、学事暦で定める実授業日数を踏まえ、年間の授業計画を立案し、学修時間の確保している。</p> <p>(2) 授業計画書の作成・公表時期</p> <p>作成要領に基づき、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)と教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)との整合性・一貫性を持たせたシラバスを作成することとしている。特に、カリキュラムの中での授業科目の位置づけを履修系統図と関連させて記載し、科目間の体系的な学習の指針としている。また、学習の到達目標、準備学習、事後学習を記載し、学生が目的意識をもって学習する具体的なイメージを持たせ、各教員のオフィスアワーに関する内容を記載し、学生の個別相談や指導に応じている。実務経験のある教員等による授業科目については、項目を設けて記載している。なお、公表時期は当該年度の4月とし、過去5年間のシラバスも閲覧できる。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>Web 講義要項(シラバス) システム</p> <p><a href="https://isyllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/top.do">https://isyllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/top.do</a></p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則で定めた成績評価及び単位付与は、授業科目のシラバスに基づき、授業への貢献度・試験・レポート・小テスト等によって、学生の学習状況を踏まえた総合的な評価を行っている。成績評価の結果は、年2回、学生及び保護者に対して通知し、成績評価の透明性に努めている。また、FDによる授業評価アンケートによって、学生の学習状況や時間等の学修行動について確認を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則で定めている成績評価に基づき GPA 制度を設け、成績評価と GP 及び GPA 算出方法については、学生便覧と本学ホームページで公表している。また、学生に対しては、年度始めの教務ガイダンスで履修登録や履修中止等の手続き、成績評価と GPA 制度についての学修支援に関する説明を行っている。

GPA の客観的な指標については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学部・学年毎の GPA を算出し、成績の分布状況の把握し、本学ホームページ上で公開している。

GPA 分布・科目毎の単位修得状況等を鑑みて、GPA の指標を設け、平均値及び分布をホームページ上で公開し、個々の学生が学部・学年の中でどの位置にいるか確認できるようにし、学生の履修相談や学修支援にも活用している。

(1) GPA の具体的な内容と算出方法

成績評価は、100 点満点とし、60 点以上を合格としている。授業科目ごとの成績（評価点）に応じてグレードポイント（GP）を付与し、1 単位あたりの平均値（GPA）を算出している。

[GPA の算出方法]

$$\textcircled{1} \text{ GP} = (\text{評価点} - 55) / 10$$

(各学期に評価を受けた科目の GP × その科目の単位数) の合計

$$\textcircled{2} \text{ GPA} = \frac{\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}{\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

[成績評価の区分]

可否の判定	評価（評価点）	摘要	評点（GP）
合格	S（90～100 点）	きわめて優秀な水準に達している	3.5～4.5
	A（80～89 点）	優れた水準に達している	2.5～3.4
	B（70～79 点）	ねらい通りの水準に達している	1.5～2.4
	C（60～69 点）	合格に足る水準に達している	0.5～1.4
不合格	F（0～59 点）	合格に足る水準に達していない	0

(2) GPA に関する各種要件

- ・ GPA の算出対象となる科目は、卒業要件にかかわる科目とする。
- ・ 小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示する。
- ・ 履修を取消した科目については、GPA に算出しない。
- ・ 不合格（F）の科目を再度履修した場合、成績の可否にかかわらず、GPA には最新の評価が反映される。

(3) GPA の適切な実施状況

- ・ GPA は、上記の算出方法により、前期終了後と後期終了後の年 2 回算出して、成績通知書に表記して学生に通知している。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

ホームページ

【情報公開－IR 情報－学修成果－成績評価値（GPA）】

(<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/#001>)

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針は、各学部・学科で定めている教育目的及び人材の養成を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）と入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）との関連性を持たせ策定を行っている。卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の公表については、学生便覧とホームページ上で公表している。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めた学士力・資質・能力等は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）により授業科目との関連付け、履修系統図・カリキュラムマップを作成し、学生に公表している。</p> <p>また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の確認については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学生生活アンケートや卒業時アンケートを実施して、内部質保証の観点から検証を行うこととしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ (<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/</a>)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	石巻専修大学
設置者名	学校法人専修大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>
財産目録	<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和2年度事業計画 対象年度:2020年度)
公表方法: <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html">https://www.senshu-u.ac.jp/about/corporation/profile.html</a>
中長期計画(名称:石巻専修大学 中長期ビジョン 対象年度:2020~2024年度)
公表方法: <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/isu-vision.html">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/isu-vision.html</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ ( <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html</a> )
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ ( <a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/inspection.html</a> )
--

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 理工学部・経営学部・人間学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ）
（概要） 【理工学部の目的】理工学部は、基礎科学から応用技術に至る総合的かつ体系的な教育研究を行い、幅広い教養と専門知識を習得し、人間社会が必要とする多様な情報を科学的に収集し、発信することができる能力を備え、様々な科学技術の課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てることを教育上の目的とする。  【経営学部の目的】経営学部は、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「経営学分野」とし、幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や社会性と高い職業観、生涯にわたり自発的な学習を継続するための能力を養うとともに、経営学分野に関する基礎的な知識の習得の下に、組織経営における高度なマネジメント、マーケティング、会計、情報、経済等の知識や技能を経営実践の場面に活用できる創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。  【人間学部】人間学部は、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する教育研究を通じて、人間存在や人間特性と多様な価値観の理解のもとに、人間支援や地域支援の観点から共生社会を支える人材を広く社会に輩出することで、地域社会の発展と向上に貢献することを教育上の目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ、学生便覧）
（概要） 1. 幅広い教養と専門知識 2. 情報収集力と情報発信力および専門的能力 3. 主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢 4. 創造的思考力と研究遂行能力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、学生便覧）
（概要） 1. 教育課程の編成に当たり、基本教育科目は、幅広い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養することを目的に、スキル養成科目、社会性養成科目、教養力養成科目を開設し、専門教育科目は、各学部各学科に関わる高度な専門的知識及び技能（スキル）並びに技術（スキルの体系）を身に付け、実社会で活躍するための能力の修得を目的として、編成する。 2. 教育課程の実施に当たっては、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進し、地域社会に根ざし、他者との協働を重視した実践的な教育を、少人数を基本に実施することによって、知識・技能ならびに技術の定着を図る。 3. 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度を目安として、知識・理解のみならず、思考・判断や関心・意欲なども加味して多面的に行う。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ、学生便覧）
（概要） 1. 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を持っている。 2. 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、表現できる能力を持っている。 3. 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重し、自主的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。

#### ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ (<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
理工学部	—	28人	6人	1人	3人	1人	39人
経営学部	—	15人	2人	0人	2人	1人	20人
人間学部	—	22人	4人	0人	2人	0人	28人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		87人					88人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：【石巻専修大学研究者情報システム】 <a href="https://kjs.acc.senshu-u.ac.jp/issphp/KgApp">https://kjs.acc.senshu-u.ac.jp/issphp/KgApp</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学ではFD委員会を設置し、学生による主体的な学びを実現するために、学生の学修状況を把握し、より一層の対話型の授業改善に努めると同時に、「教え」から「学び」へと教員の意識転換を促す教員セミナーを実施している。</p> <p>授業評価の実施と改善に関して、「学生による授業評価アンケート」を年2回実施している。教員は、授業改善のためのPDCAサイクルとして、授業評価を継続、その評価を基にした自己省察「教員所見票」を作成・学内公開、学生へのフィードバックをし、授業改善による教育の質的向上を推進している。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
理工学部	170人	160人	94.1%	680人	547人	80.4%	若干名	1人
経営学部	190人	149人	78.4%	760人	527人	69.3%		0人
人間学部	80人	72人	90%	320人	282人	88.1%		1人
合計	440人	381人	86.6%	1,760人	1,356人	77%	人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
理工学部	95人 (100%)	3人 (3.16%)	84人 (88.42%)	8人 (8.42%)
経営学部	97人 (100%)	2人 (2.06%)	86人 (88.66%)	9人 (9.28%)
人間学部	39人 (100%)	0人 (0%)	35人 (89.74%)	4人 (10.26%)
合計	231人 (100%)	5人 (2.16%)	205人 (88.74%)	21人 (9.09%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 株東北フジパン、サントリービバレッジサービス株、服部コーヒーフーズ株、日本郵便株、東京電力ホールディングス株、(一財)鶴岡市開発公社(加茂水族館)、ズージャパン株、南光運輸株、(一社)岩手県薬剤師会検査センター、アパホテル株、大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート株、株八葉水産、株足利本店、株アグリテクノ、みやぎ生活協同組合、いしのまき農業協同組合、青森県、宮古市、矢板市、葛尾村、鹿角市、石巻専修大学大学院、株ユアテック、日野ヒューテック株、トヨタ東北株、河西テクノ株、福島トヨペット株、アキラ機電株、北上鐵工株、北海道警察本部、東北電力株、株ユアテック、東北ポール株、通研電気工業株、石巻信用金庫、株日立パワーソリューションズ、東北発電工業株、カメイ株、トヨタ東北株、積水ファミエス東北株、資生堂ジャパン株、アイコム株、株DHC、松島国際観光株、ルートインジャパン株、宮交観光サービス株、会津商工信用組合、杜の都信用金庫、ふくしま未来農業協同組合、仙台商工会議所、石巻商工会議所、あぶくま川水系角田地区土地改良区、JR東日本東北総合サービス株、株カナモト、株カワチ薬品、イオンリテール株、イオンエンターテイメント株、株清月記、(一社)仙台市医師会、(独)国立病院機構、福島県商工信用組合、宮城県商工会連合会、神奈川県警察本部、陸上自衛隊自衛官候補生、青山商事株、いしのまき農業協同組合、羽後信用金庫、ANA成田エアポートサービス株、(一財)杜の都産業保健会、カガク興商株、株タカラレーベン東北、(学)渡波学園 長浜幼稚園、(社福)宮城県厚生福祉会、株こどもの森、石巻商工会議所、(独)労働者健康安全機構、(社福)クレッシェンドかえで保育園、大崎市(保育士)、宮城県教育員会(小学校教員)ほか				
(備考) ・学期末卒業生を含む。(未卒確定者は除く) ・就職しない者のその他の内訳は、次年度教員2名、次年度公務員1名。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
理工学部	114人 (100%)	87人 (%)	11人 (%)	16人 (%)	0人 (%)
経営学部	112人 (100%)	90人 (%)	8人 (%)	14人 (%)	0人 (%)
人間学部	46人 (100%)	39人 (%)	3人 (%)	4人 (%)	0人 (%)
合計	272人 (100%)	216人 (%)	22人 (%)	34人 (%)	0人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【再掲】</p> <p>教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき各学部・学科の授業科目を編成し、当該年度に開講する授業科目については、教務委員会において計画策定を行っている。</p> <p>年間の授業計画は、学事暦で定める実授業日数を踏まえ、年間の授業計画を立案し、学修時間の確保している。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【再掲】</p> <p>卒業の認定方針は各学部・学科で定めている教育目的及び人材の養成を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）と入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）との関連性を持たせ策定を行っている。卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の公表については、学生便覧とホームページ上で公表している。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めた学士力・資質・能力等は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）により授業科目との関連付け、履修系統図・カリキュラムマップを作成し、学生に公表している。</p> <p>また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の確認については、学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学生生活アンケートや卒業時アンケートを実施して、内部質保証の観点から検証を行うこととしている。</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
理工学部	食環境学科	126 単位	有・無	49 単位
	生物科学科	126 単位	有・無	49 単位
	機械工学科	126 単位	有・無	49 単位
	情報電子工学科	126 単位	有・無	49 単位
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	49 単位
人間学部	人間文化学科	124 単位	有・無	49 単位
	人間教育学科	124 単位	有・無	49 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学ホームページ、シラバス		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：ホームページ (<a href="https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/">https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/</a>)、シラバス</p>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
理工学部	食環境学科	968,000 円	230,000 円	383,000 円	
	生物科学科	968,000 円	230,000 円	383,000 円	
	機械工学科	968,000 円	230,000 円	383,000 円	
	情報電子工学科	968,000 円	230,000 円	383,000 円	
経営学部	経営学科	673,000 円	230,000 円	273,000 円	
人間学部	人間文化学科	700,000 円	230,000 円	343,000 円	
	人間教育学科	710,000 円	230,000 円	363,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、修学支援では次の事項を定めている。</p> <p>①教職員一体となって、修学に対する相談・指導及び補習・補充教育の実施に取り組む。</p> <p>②意欲ある学生に学ぶ機会を提供する。</p> <p>③休・退学者の状況を把握し、適切な対応策を講じる。</p> <p>これにより、本学では入学前教育、クラス担任制やゼミナール・研究室などの低学年から継続した学修指導体制、オフィスアワー制度、学習支援室など、入学前から卒業まで小規模大学だからこそ可能なきめ細かい少人数教育と学生サポートを行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、進路支援では次の事項を定めている。</p> <p>①進路支援室において就職に関する相談や指導、進路ガイダンスの企画・運営を行う。</p> <p>②就職資料室を設け、就職活動時に参考となる資料を閲覧できるようにする。</p> <p>③学生の進路状況の把握や就職に関し、各教員に対し情報の提供・収集を行う。</p> <p>④社会で必要となる基礎的・汎用的能力を育成するとともに、職業観・勤労観を醸成し、生涯を通じた持続的な就業力が身につくように支援する。</p> <p>これにより、ゼミナールや研究室の指導教員による指導・助言や進路支援担当職員が対応する時間無制限の個別相談、毎週開催する就職活動に必要な知識・スキルを学ぶ進路ガイダンスなどをおして学生が希望する進路をかなえられるようサポートを行っている。また、学内で定期的に企業説明会を開催しているほか、毎年3月に本学学生のみを対象とした合同企業説明会を開催している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、学生を基本に据えた大学作りに向けて、すべての学生が学修に専念し安定した学生生活を送ることができるよう、修学支援・生活支援・進路支援からなる「学生支援に関する方針」にて、生活支援では次の事項を定めている。</p> <p>①学生一人ひとりの人間的成長と自立を促すため、課外活動の支援と正課外プログラムの充実を図る。</p> <p>②相談による支援を充実させるとともに、ハラスメントについては学生の人権尊重を基本に、相談機能を強化し、防止に向けた啓発活動を継続的に実施する。</p>

③安全・安心で安定した学生生活の確保に向けて、事件、事故、災害等に遭わないための指導や対策を講じるとともに、家計急変や社会環境の変化等に応じた経済的な支援の充実に努める。

これにより、学生生活や健康、友人関係などの悩みを相談できる場所として「保健室」「学生相談室」を設置し、学生のさまざまな相談に対応している。

また「キャンパス・ハラスメント相談室」を設けキャンパス・ハラスメントの防止に努めるとともに、発生したキャンパス・ハラスメントに対して可及的速やかにキャンパス・ハラスメントによって乱された秩序を回復し、学生及び教職員にとって快適に学び、研究し、または働く環境を確保できるよう努めている。

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ

(<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/about/disclosure/>)